

認知症の人の希望を叶えるヘルプカード報告会

(令和3年度厚生労働省 老健事業)

プログラム

2022年3月9日(水) 13:00~16:30 オンライン開催 (zoom)

時 間	内 容
13:00~13:10	開会・本年度事業のねらい：概要説明 認知症介護研究・研修東京センター 永田 久美子
13:10~14:20	第1部 ① 「認知症の人のヘルプカード等に関する全国調査」結果から見えてきたこと ② 「本人の希望を叶えるヘルプカード等」試行調査から見えてきたこと 認知症介護研究・研修東京センター ③ 本人からのメッセージ：調査結果をもとに 本研究事業委員（認知症本人委員）
14:20~14:30	休 憩
14:30~16:10 (途中休憩あり)	第2部 ヘルプカード等の施行地域からの報告 【報告】 1. 本人が、カードを作って活用するプロセスとともに展開 *様々な支援組織で ・行政、地域包括支援センター ・認知症疾患医療センター ・地域密着型介護サービス ・サービス付き高齢者住宅 他 2. 本人たちの集まりで、ともにカードを作って活用 3. 本人が行きたい地域のお店等とともにカードを活用 4. 認知症の人の希望を叶えるカードを、地域で伝え広げるアクション
16:10~16:30	各地域でのカードの普及・活用に向けた提案 *本日の語り手 *参加者の方たちからのアイデア、意見、質問も交えて

*オンラインで参加して下さる皆さまへ

当日、報告等をお聞きいただきながら、アイデアや意見、質問をチャットでお寄せ下さい。

認知症の人の希望を叶えるヘルプカード報告会

(令和3年度厚生労働省 老健事業)

今年度当センターでは、「認知症の本人が、望む外出や出先での用事を、安心・安全・スムーズに行うために、本人自ら活用するカードの開発やその普及に関する調査研究に取り組みました。

本報告会では、都道府県・市区町村・認知症地域支援推進員・認知症疾患医療センターのみなさまにご協力をいただいて実施した、ヘルプカード等の活用実態や今後の課題等に関する全国調査結果から見えてきたことを、報告します。

また、今年度、全国各地で本人とともにカードの作成と活用等を試行している地域の方たちから、取組の経過や手応え、課題等についてご報告いただきます。

★「認知症施策推進大綱」では、「認知症バリアフリー」の一環として、「ヘルプカードを周知し、利用を促進する」ことが目指されています。

今回の報告会にご参加いただき、カードを活かして望む外出を続けることができる本人がご自身の地域で着実に増えていくための進め方や参考情報を、具体的に得ていただけることを願っております。

開催日：2022年3月9日(水) 13:00～16:30

対象：認知症施策担当者、認知症地域支援推進員、
認知症疾患医療センター(連携担当者)、地域づくりの関係者

プログラム：裏面をご覧ください

定員：1,000 *申込み多数の場合、同じ地域の参加を調整させていただく場合があります。

申込み方法：当センターのホームページ DC ネットのトップページ

[「新着・イベント情報」](#)よりお申込み下さい。

*同送の他の2つの催事と同一の申込フォームとなります。



【連絡・問い合わせ先】

認知症介護研究・研修東京センター 担当：花田・飯塚・永田

E-mail：suishinin@dcnet.gr.jp

TEL：03-3334-3073 FAX：03-3334-2156